

いとごんわ

熊本県立
芦北支援学校



第 167 号

平成 31 年 3 月 1 日

発行

紙面内容

- ・ 新児童生徒会紹介
- ・ ご卒業おめでとうございます
- ・ 交流及び共同学習コーナー
- ・ 平成 30 年度進路情報 その他

児童生徒会役員選挙、任命式を行いました。次年度に向けて、新児童生徒会がスタートしました。

「安心して
“くよくよ” しよう♪」

校長

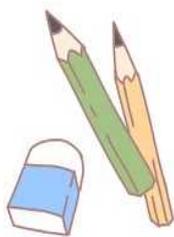
山下 由美



厳しい寒さや4月を思わせる温かさが錯綜した2月も終わり、学校では卒業証書授与式を迎える3月がやってきました。本校高等部3名、高等部佐敷分教室8名の式を挙行いたします。生徒一人一人の頑張りはもちろんのことですが、保護者の皆さまをはじめ、本校の教育活動のために御支援や御協力をいただきました全ての皆さまに心から感謝申し上げます。3年間積み重ねてきた経験や思い出が、これからの人生において大きな意味を持つと思います。本当にありがとうございます。今後とも御助言等よろしくお願いいたします。

さて、社会に巣立つ卒業生にとって、これからも良いこともそうでないことも様々起こると思います。そんな時こそ、この3年間の経験こそが、大きな力になってくれます。ふと「ひすいこたろう」さんの本の一部を、思い出しましたので紹介します。「小さいことでくよくよしてしまう」という問いへの回答でした。

『「1年前、何に悩んでましたか?」そう聞いてみると、ほとんどの人はすぐに思い出せない。つまり、今悩んでいることは、一年後には思い出せないくらいの問題になっているはず。一年後、どうせ何にくよくよしていたかさえ思い出せないのだから、安心してくよくよしよう。まあ、気軽に悩んでください。』
だそう。人生「山あり谷あり」…。目の前の人を大切に、気軽に悩みながら、人生の扉を開く楽しみを味わってほしいと思っています。私もそうしたいと思っています。



新児童生徒会紹介

本校児童生徒会

2月1日(金)の全校集会は、新児童生徒会役員による初めての集会でした。それぞれが各係を担当し、やや緊張した中での船出となりました。みんなで相談して、今年の児童生徒会のイメージカラーは赤とオレンジ色に決めました。あいさつ運動、卒業式、全校集会で「明るい芦北」が出せるよう、みんなで協力して臨みたいと思います。

(五嶋)

佐敷分教室生徒会

11月26日(月)、平成31年度佐敷分教室の生徒会のメンバーが決まりました。生徒会長は2年生、Hさん、生徒会役員に同じく2年生、Nさん、1年生、Yさん、同じく1年生、Mさんの4名が任命されました。生徒会長のHさんは、任命式で「生徒一人一人が輝ける学校にしたいと思います。」と決意を表明しました。

(江口)



ご卒業 おめでとう ございます



本校高等部

Mさん、Aさん、Cさん、ご卒業おめでとうございます。Mさんは、右手でたくさんの人や物と触れ合い、人の声や音をよく聞いて、表情や動きで自分の気持ちを伝えることができました。Aさんは、指差して自分の気持ちを伝えたり表現したりすることができるようになりました。「やりたい」という意欲や興味関心も広がりました。Cさんは、声やスイッチで自ら人を呼んで要望を伝える学習に取り組む、多くの人とのかかわりの中で自分の気持ちを整理し、コントロールすることができるようになりました。卒業後は高等部での思い出を大切に、今まで以上に多くの人とかかわり、様々な活動に参加して豊かな生活を送ってほしいです。

(福島)



佐敷分教室

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。絵が上手なEさん、百人一首が得意なMさん、ひょうきんなKさん、甘え上手なNさん、マイペースのSさん、スポーツマンのRさん、真面目なCさん、明るく元気なYさん。分教室での3年間はあつという間に過ぎたのではないのでしょうか。スポーツフェスティバル、作業学習、現場実習、修学旅行、芦北高校との交流、販売会、ダンス発表会などの行事を経験し、たくさんの思い出ができたと思います。その中に楽しいこと、嬉しいこと、つらいこと、悩んだことがたくさんありましたね。それを一つ一つ積み重ねたり乗り越えたりして、今の皆の成長があったと思います。皆は自分のやりたいこと、課題を見つけ、進路を自分自身で決めました。これから社会に出て、いろいろなことを経験すると思います。佐敷分教室で学んだことを次のステージで生かし、新しい目標に向かって突き進んでください。ずっと応援しています。

(守田・大塚)



校外学習 in 城彩苑・熊本城

2月1日(金)、佐敷分教室では熊本市方面での校外学習を行いました。大型バスに乗車し、熊本の様々な町の風景を見ながら、城彩苑に行きました。城彩苑内にある熊本城の歴史を体験しながら学ぶことのできる「熊本城ミュージアム湧々座」では、展示物やプロジェクションマッピング、寸劇などを見学しました。昼食は、苑内にあるビュッフェレストランでもおいしい料理を食べました。

午後は、午前中に学習した熊本城の歴史を踏まえて、復興工事が行われている熊本城を見学しました。本丸御殿を取り囲む石垣や櫓などはまだ地震の影響が見られ、生徒たちも直接見ることで地震の怖さを痛感していました。しかし、本丸御殿の復興工事がどんどんと進んでいる様子から、元気をもらうことができたと思います。

今回の学習を通して、自分たちの住む町の歴史や防災への関心をより高め、実生活に生かしてほしいと思います。

(境野)



交流及び共同学習コーナー「あいりす」

ダンス発表会

小学部

芦北幼稚園と佐敷小学校に加えて、今年度は吉尾小学校とも交流しました。制作活動やゲームをしながら、交流を深めました。はじめは、どんなふうにかかわったらいのかなあと、お互いがドキドキしていました。声を掛けたり、お話をしたりしながら、次第に打ち解けて笑顔あふれる交流になりました。一つ一つの出会いを大切にしながら、お互いを認め合う交流をこれからも続けていきたいと思っています。

(深浦)



高等部

今年度も、芦北高校と水俣高校の2校と交流を行うことができました。芦北高校とは野菜の植え付けと収穫を中心とした直接交流を2回行いました。収穫後のポッチャゲームでは、互いに応援したり、サポートしたりする姿が見られました。水俣高校とはビデオ交換を中心とした間接交流を3回行うことができました。また水俣高校の文化祭に本校の生徒が制作した新聞を掲示していただきました。

(西山)



中学部

年に2回の佐敷中学校との交流では、同じ中一同士で声を掛け合いながら賑やかに活動することができました。特に今年は、2学期の交流を佐敷中学校で2日間行うことができ、本校の生徒たちの校外での活動が充実しました。老人ホーム有隣との交流も2回取り組み、2回目は老人ホームに出向き、フラワー交流会と一緒に植えた花や野菜のプランターとお礼の手紙を届けました。最後は次年度に向けての手紙で締めくくりました。

(猪木)



佐敷分教室

今年度も、芦北高校と様々な交流学習を行いました。農業科とは田植えや稲刈り。林業科とは森林教室やリース作り。福祉科とは芦高祭でのステージ発表といった、各学科の特色に応じた活動を通して交流を深めました。また、10月には女島活力推進センターで開かれた「もやい祭」に、運営ボランティアとして参加し、地域交流をしました。今年度の交流及び共同学習に協力いただいた各関係者様に感謝申し上げます。

(鈴木)



1月20日(日)に熊本県立劇場で熊本県高等学校ダンス発表会が開催されました。今年の分教室のダンスは「合掌」。災害からの復興をテーマにみんなで創作しました。

9月からの体育の授業で生徒たちが協力しながら創り上げてきたダンスを、大勢の方々が見守る中、スポットライトに照らされた大きなステージの上で堂々と表現することができました。演技終了後には客席から大きな拍手と賞賛の言葉をいただき、生徒たちはみんな満足感や達成感に満ちあふれていました。

(門永)



【各種表彰】

○熊本県がんばる高校生

受賞 分教室3年 Kさん

○第3回県内特別支援学校文化作品展

特別支援学校長会賞 分教室2年 Tさん

○「心のきずなを深める」ためのポスター

奨励賞 分教室3年 Eさん

○第4回肢体不自由児デジタル写真展

銅賞 高等部3年 Hさん

アートトレイン

今年も肥薩おれんじ鉄道様の御協力の下、「芦援アートトレイン」が実現しました！「芦北町ラッピング列車」には小学部・中学部・訪問教育の児童生徒の作品が、「フアミリーマートラッピング列車」には高等部と佐敷分教室の生徒の作品が飾られ、約一ヶ月間運行しました。通勤通学時に実際に電車内で見ることができた方もいるかもしれません。今年はどうな作品にしようかと担任の先生と話しながら、一生懸命に制作していた児童生徒たちです。秋や列車をテーマにしたカラフルな作品や繊細な人物画など、今年も素敵な作品ばかりでした。本校では車内の様子を映像で確認し、みんなで喜びを共有しました。また、電車がとても賑やかにになり、大好評だったと嬉しいお言葉もいただいております。今年もありがとうございます！（松田）



進路情報

3月、高等部11人の卒業生（本校3人、分教室8人）が、12年間の学校生活を終え、新たな生活へ向かって芦北支援学校を巣立っていきます。高等部の卒業は、人生の大きな節目です。これから先の長い人生、楽しいこと、辛いこと、いろいろなことがあると思いますが、一番大切なことは、「相談すること」です。困った時は、一人で悩まず、学校や支援機関等と上手に相談し、一緒に前進してほしいと思います。学校も支援機関と連携し、これからも卒業生たちを見守り応援していきます。卒業しても、学校は、「母校」です。ぜひ、「スポーツフェスティバル」等の行事に元気な笑顔を見せに来てほしいと思います。（中村）

『主な進路先』

《一般企業》

- ・東海カーボン（株）
 - ・河村電機産業（株）
 - ・アクトビリーサイクリング（株）
- ### 《就労継続支援A型事業所》
- ・合同会社永正

- ### 《就労継続支援B型事業所》
- ・一般社団法人虹水俣営業所
 - ・済生会ウイズ

- ### 《障害がい者支援施設等》
- ・障がい者支援施設みつば学園
 - ・熊本芦北療育医療センター
- ### 《専門学校》

- ・熊本県立高等技術専門学校



地域支援便り

巡回相談・教育相談を通して、たくさんのお出会いがありました。子どもの成長と幸せを願い、学校を始め、いろいろな関係機関の皆さんと共に考え、取り組んできました。人の思いや考えは一人一人違います。また、考えなければならぬことは多岐にわたります。お互いの思いや考えを共有しながら、支援の方向性や具体的な取組を考えていくことは難しいことではあります。しかし、目指すものは、「子どもの笑顔」だと思います。多くの出会いを大切にしながら、これからも「子どもの笑顔」のために、皆さんとつながっていききたいと思えます。（深浦）

学校のことを知ってください。
学校にいらしてください。
学校にご意見ください。

学校は地域に貢献します。

「いとでんわ」は芦北支援学校の情報発信紙です。地域と共に成長する学校でありたいと考えています。関係者の皆様、地域の皆様のご意見をお待ちしています。

《御意見・問い合わせ》

TEL 0966-82-4627

FAX 0966-82-4606

MAIL ashikita-s@pref.kumamoto.lg.jp

今年度も1年間、ありがとうございました。